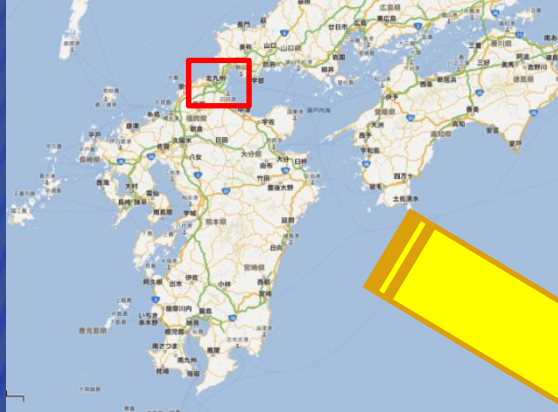


すべてのヒントはお客様から
～「豊前海一粒かき」販売促進の取り組み～

豊前海北部漁業協同組合恒見支所青壮年部

江口 一弘

地域の概要



- ・瀬戸内海西部に位置
- ・遠浅で静穏な環境



漁業の概要



- 組合員全員がカキ養殖に従事
- 水揚げ金額の96%がカキ養殖（約1億3,500万円）

研究グループの組織と運営

○恒見支所青壮年部

14名が所属、平均年齢**40歳**！



○活動内容

ガザミの中間育成、漁場クリーンアップ活動など

研究・実績活動の取組選定課題の動機



- ・ 昭和54年にカキ養殖をスタート
- ・ 当時は珍しかった「殻付き」カキの出荷が主流

研究・実績活動の取組選定課題の動機



- ・ 当時は「むき身」が主流
- ・ 殻付きカキのなじみは薄く、採算がとれない

生産者によるブランド化の取り組みを開始

研究・実践活動の状況および成果

(1) ブランドの礎を築く

(安心・安全な「豊前海一粒かき」を目指して)

○漁業者の組織化・「カキ養殖研究会」の発足

- 「出荷要領」の作成
- 名称を「豊前海一粒かき」に統一
- 統一したロゴや発砲箱デザイン



研究・実践活動の状況および成果

(1) ブランドの礎を築く

(安心・安全な「豊前海一粒かき」を目指して)



- ・ 毎年、衛生講習会を開催

研究・実践活動の状況および成果

(1) ブランドの礎を築く

(安心・安全な「豊前海一粒かき」を目指して)



○年明け後の客足の低迷

多くの人々に知って
もらうべきだ!

積極的なPR活動を実施

研究・実践活動の状況および成果

(1) ブランドの礎を築く

(安心・安全な「豊前海一粒かき」を目指して)



- ・ H11年より福岡市天神地区でのイベントを開始

研究・実践活動の状況および成果

(1) ブランドの礎を築く

(安心・安全な「豊前海一粒かき」を目指して)



- 数千人が来場する一大イベントに成長

研究・実践活動の状況および成果

(1) ブランドの礎を築く

(安心・安全な「豊前海一粒かき」を目指して)

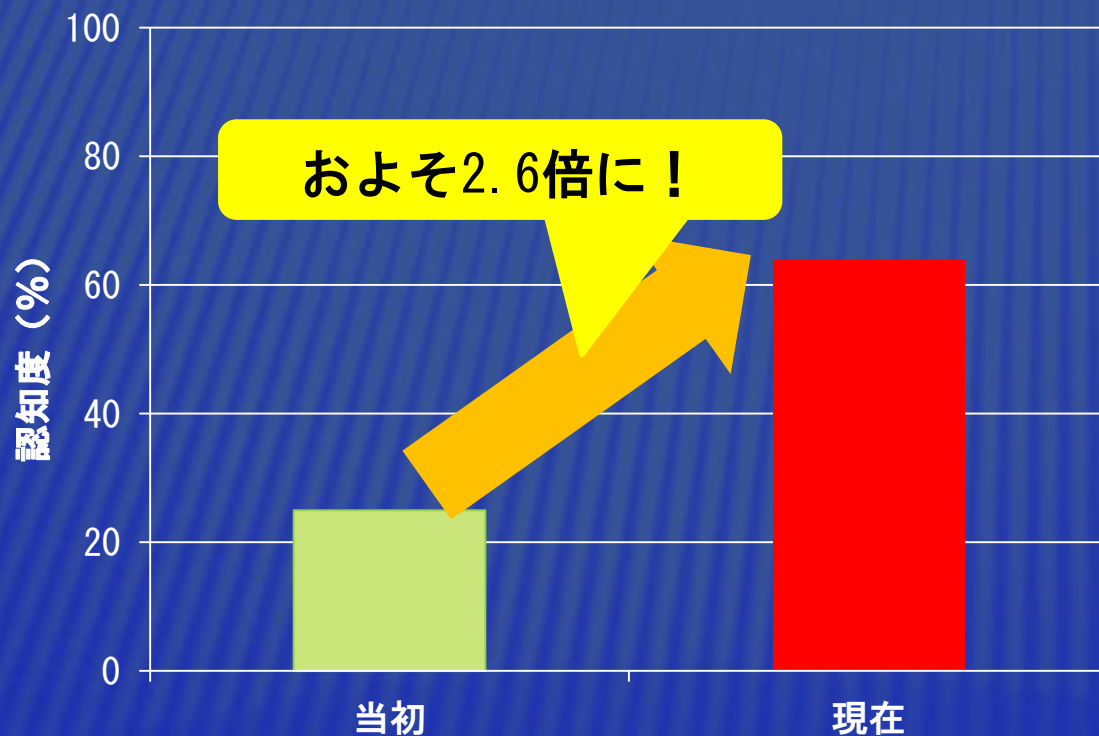


- ・ 福岡空港や沖縄県でもキャンペーンを開催

研究・実践活動の状況および成果

(1) ブランドの礎を築く

(安心・安全な「豊前海一粒かき」を目指して)



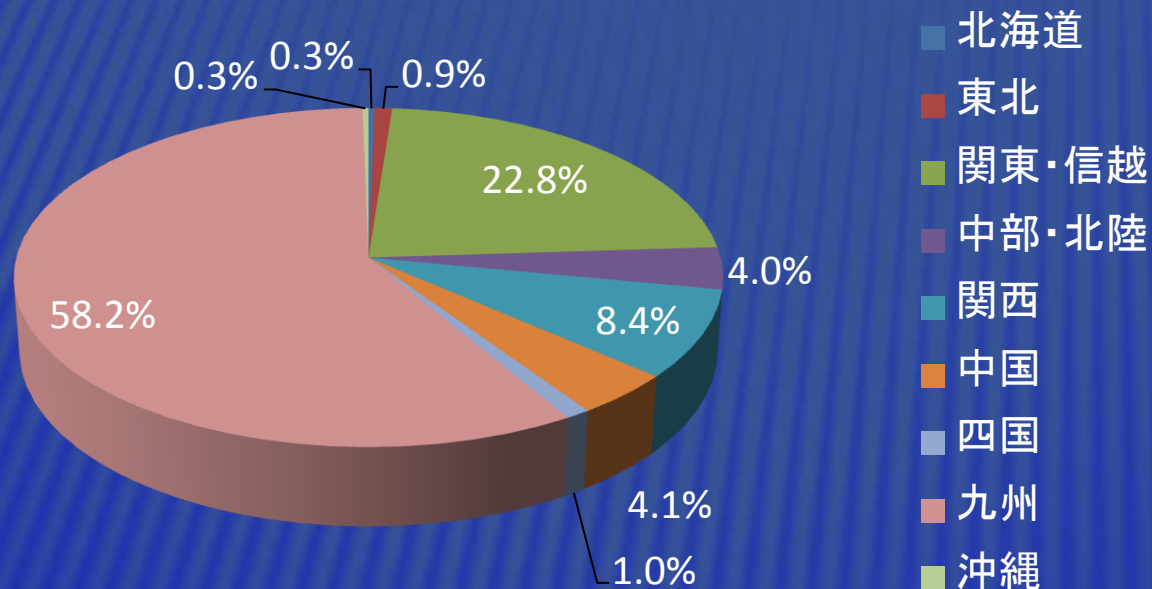
「豊前海一粒かき」の認知度の変化



研究・実践活動の状況および成果

(1) ブランドの礎を築く

(安心・安全な「豊前海一粒かき」を目指して)



・ 県外客の評価も高く、全国各地へ出荷

・ 市場の単価の上昇 (当初：300円/kg → 現在：900円/kg)

研究・実践活動の状況および成果

(2) お客様の多様なニーズに応じて
(直売所でお客様の意見を聞いて)

○お客様からのリクエスト

- ・海を見ながらカキを食べたい
- ・炭火を使って焼いてみたい
- ・休日に家族で楽しめる場所も欲しい

「カキ小屋」の運営に乗り出す

研究・実践活動の状況および成果

(2) お客様の多様なニーズに応じて
(直売所でお客様の意見を聞いて)

メンバーからは否定的な意見も

「我々で出来るのか・・・？」



・ カキ小屋の運営を想定した練習会を開催

研究・実践活動の状況および成果

(2) お客様の多様なニーズに応じて
(直売所でお客様の意見を聞いて)

また行くけんね!



・練習会の終盤では、お客様から暖かいお言葉を頂くまでに

研究・実践活動の状況および成果

- (2) お客様の多様なニーズに応じて
(直売所でお客様の意見を聞いて)

カキ小屋の運営方針

- ・ 採算は求めず、「豊前海一粒かき」のPRを行うこと
- ・ 常にお客様の声を聞き、要望を抽出する場所

研究・実践活動の状況および成果

(2) お客様の多様なニーズに応じて
(直売所でお客様の意見を聞いて)



平成23年3月、カキ小屋「恒見焼き喰い処」オープン!

研究・実践活動の状況および成果

(2) お客様の多様なニーズに応じて
(直売所でお客様の意見を聞いて)



開店当初より、2時間待ちの行列が出来るほどの人気！

研究・実践活動の状況および成果

(2) お客様の多様なニーズに応じて
(直売所でお客様の意見を聞いて)



食べ方の説明だけでなく、カキ養殖の説明も

波及効果

これまでの取り組みにより



- 直売所の売り上げも上昇
- 県内外の漁協から視察の依頼
- 北九州市の新たな観光地資源として貢献

今後の課題や計画と問題点



「お客様の声に耳を傾ける」 伝統を次世代へ引き継ぐ